

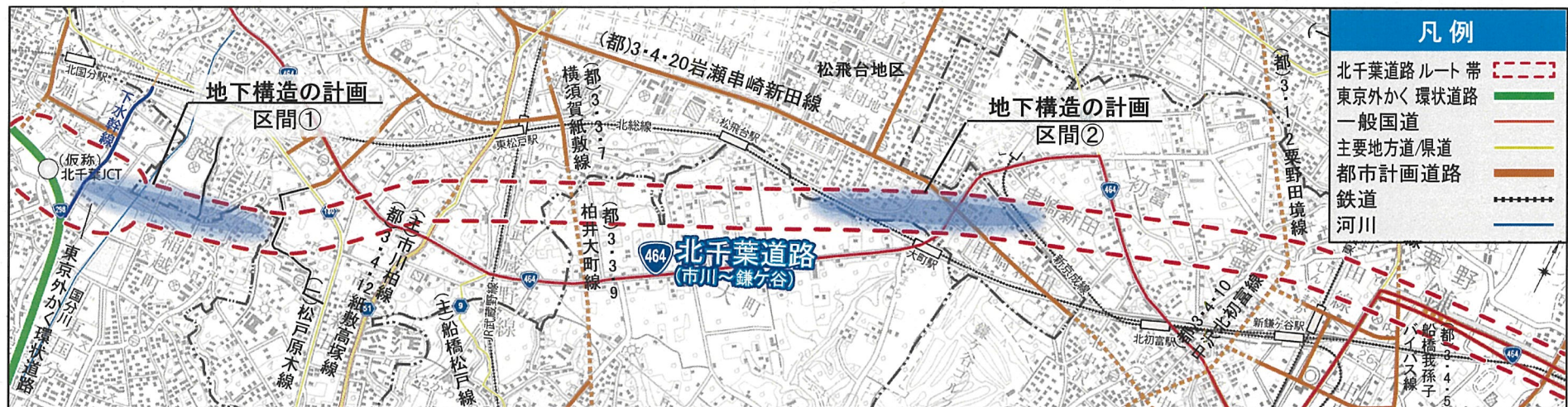
3. 第8回連絡調整会議の議題

計画の考え方について

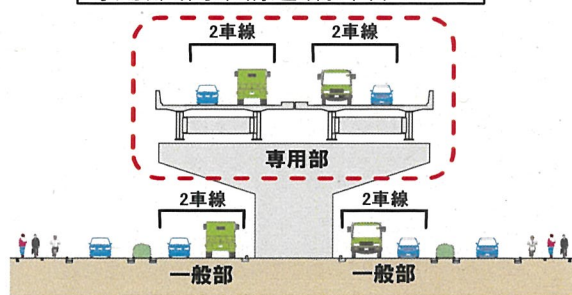
- ①専用部の基本構造【外環～鎌ヶ谷】
【鎌ヶ谷～国道16号】
- ②一般部の基本構造【外環～鎌ヶ谷】
【鎌ヶ谷～国道16号】
- ③横断構成【外環～鎌ヶ谷】
【鎌ヶ谷～国道16号】
- ④連結位置・構造【外環～国道16号】
- ⑤接続路線【外環～鎌ヶ谷】

3. 計画の考え方 ①専用部の基本構造【外環～鎌ヶ谷】

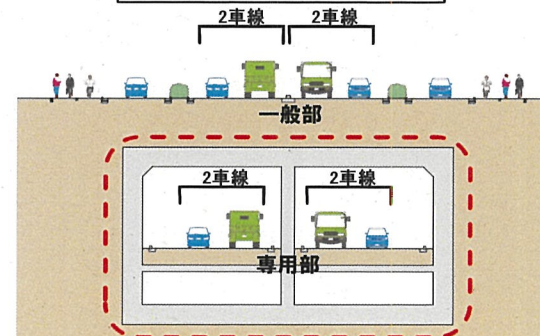
- 専用部については、計画ルートが多数の一般道や鉄道と交差すること、路線の重要性等を踏まえ、市街化が進んでいる地域において、できる限りの早期整備を目指すことなどから、高架構造を基本に計画する。
- 但し、次の区間については、現地の状況や構造基準等を踏まえ、地下構造を基本に計画する。
 - ・外環～県道松戸原木線までの間(約2km)【区間①】
 - ・北総線交差部(松飛台地区 約2km)【区間②】



専用部(高架構造(標準))イメージ

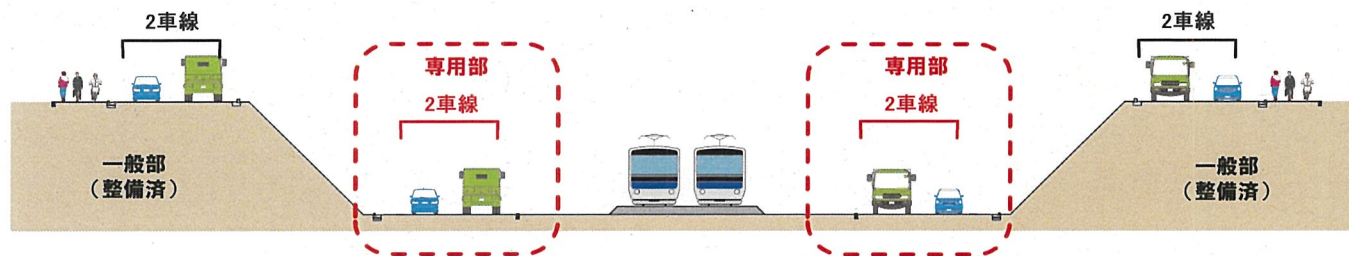
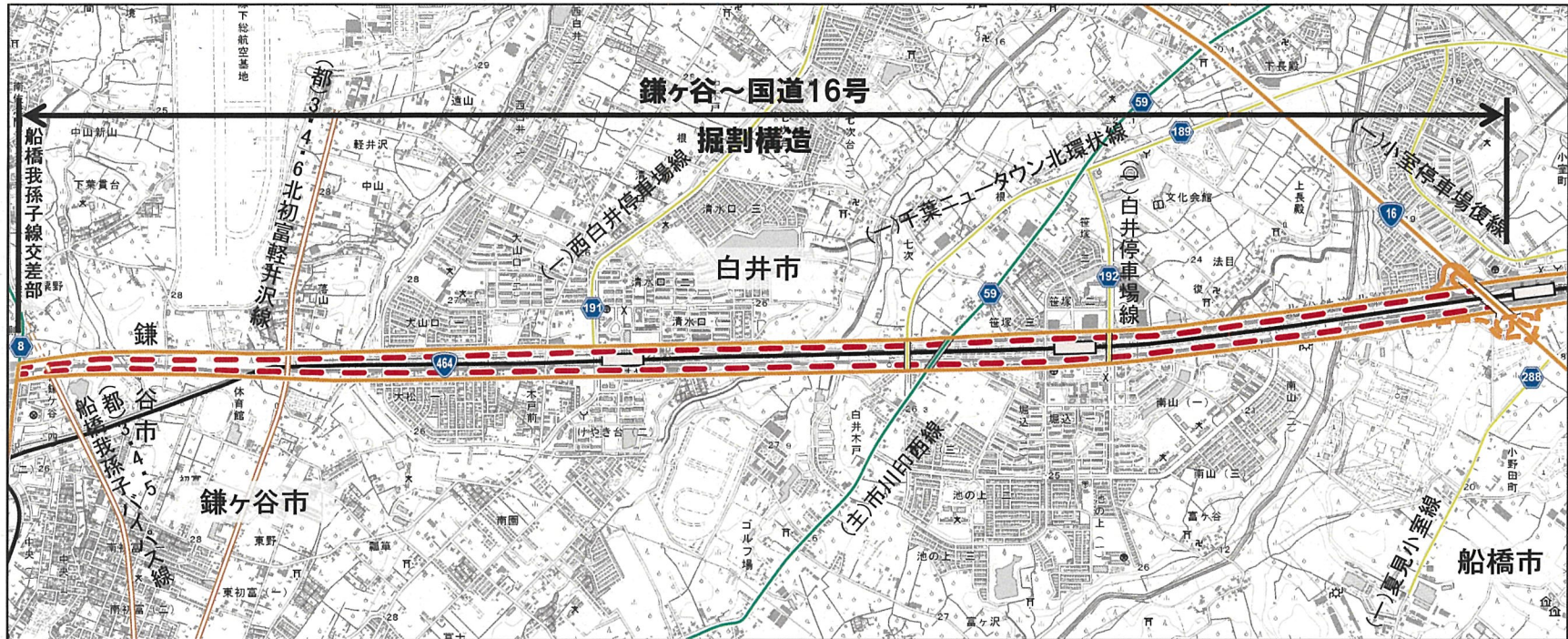


専用部(地下構造)イメージ



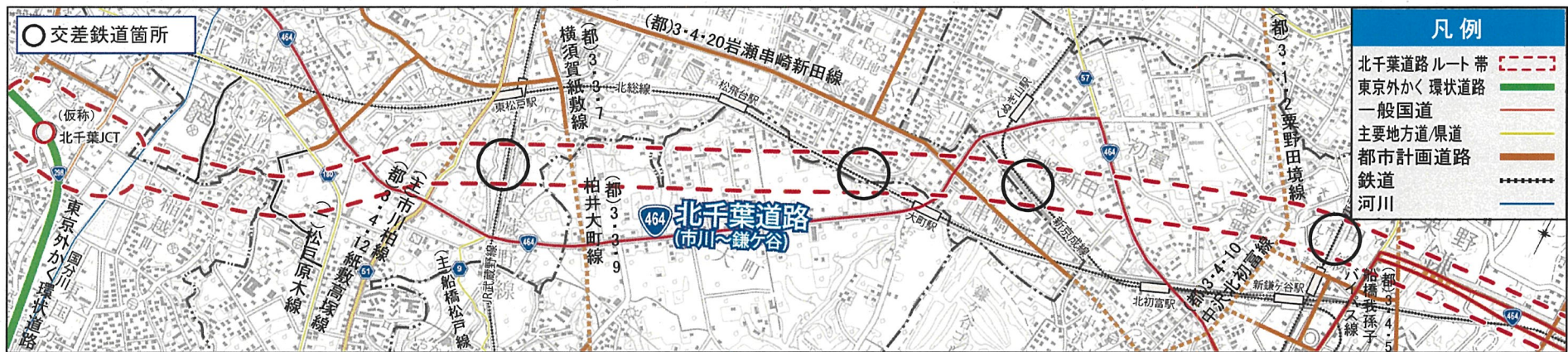
3. 計画の考え方 ①専用部の基本構造【鎌ヶ谷～国道16号】

○ 県道船橋我孫子線交差部から一般国道16号までの区間については、供用済みの一般国道464号の掘割構造内(北総鉄道敷の両側)に設置する計画とする。

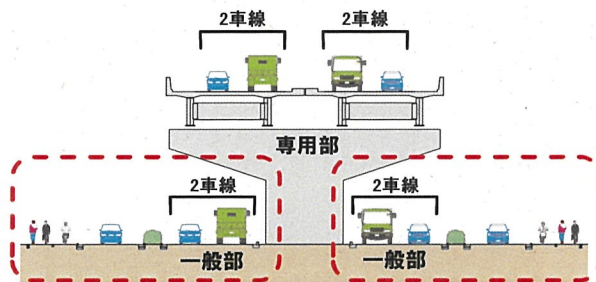


3. 計画の考え方 ②一般部の基本構造【外環～鎌ヶ谷】

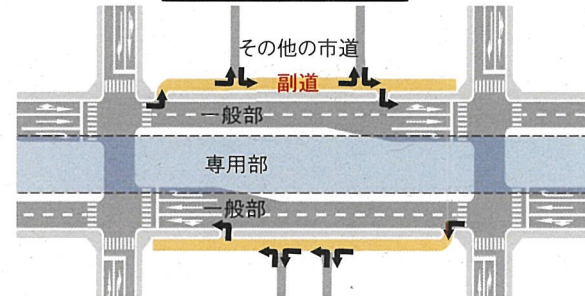
- 計画ルートは、一般国道464号や県道松戸原木線、船橋我孫子線など地域の幹線交通を担う路線や、沿線地域の生活道路となっている路線など多数の一般道と交差する。そのため一般部の構造については、一般部の走行性、安全性を確保しつつ、一般道との最適な道路ネットワークを形成するため、地表式を基本として計画し、
 - ・地域の幹線交通を担う路線については、交差点での接続を基本とする。
 - ・沿線地域の生活道路となっている路線については、副道を介しての接続を基本とする。
- 但し、4箇所ある計画ルートと鉄道との交差箇所については、現地の状況や構造基準等を踏まえ、高架あるいは地下構造による立体交差とする。



一般部(標準)整備のイメージ



副道整備のイメージ



3. 計画の考え方 ②一般部の基本構造【鎌ヶ谷～国道16号】

- 鎌ヶ谷消防署前交差点(県道船橋我孫子線交差点)において、供用済みの一般国道464号に接続する。

